

大学等における学生支援の取組状況に関する調査シンポジウム

# 「空間」と「場」から 学生支援を捉え直す

—日本学生支援機構「大学等における学生支援の取組状況に関する調査」の分析から—

令和8年  
**3月3日火**  
**14:00~16:00**  
(開場 13:30)



事前  
登録制  
参加費無料

会場

東京国際交流館 プラザ平成

東京都江東区青海2-2-1

(<https://www.jasso.go.jp/ryugaku/kyoten/tiec/access.html>)

対象

大学、短期大学及び高等専門学校で  
主に学生支援に携わる教職員

登壇者

モデレーター

沖 清 豪 (早稲田大学 文学学術院 教授)

発表者

安部 有紀子 (名古屋大学 高等教育研究センター 准教授)

蝶 慎 一 (香川大学 教育推進統合拠点 大学教育基盤センター 准教授)

橋 場 論 (福岡大学 教育開発支援機構 教授)

※プログラムは裏面をご覧ください

## ● 参加申込



[https://www.online-system.jasso.go.jp/  
survey/r7torikumi\\_application/ja](https://www.online-system.jasso.go.jp/survey/r7torikumi_application/ja)

※参加申込に必要なログインパスワード等は、各大学・  
短期大学・高等専門学校へお送りしています。

## ● 申込期間

令和8年1月13日(火)~令和8年2月13日(金)

※定員の上限100名。  
申し込み状況により、期限前に締め切る場合があります。



主 催



独立行政法人  
日本学生支援機構  
Japan Student Services Organization

問い合わせ先

日本学生支援機構 学生生活部  
学生支援企画課 学生支援調査係  
☎ 03-5520-6169

# 「空間」と「場」から学生支援を捉え直す

—日本学生支援機構「大学等における学生支援の取組状況に関する調査」の分析から—

独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)の学生生活支援事業では、大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)のご協力を得て、各大学等における学生支援の取組状況に関する情報等の収集、整理及び提供を行っています。

本シンポジウムでは、全国の大学等の学生支援に関する取組の改善の一助となることを目指し、令和5(2023)年度の取組状況の調査結果を踏まえ、同調査の協力者である研究者が、それぞれの観点から、コロナ禍を経てどのような「空間」と「場」の変容があったかを報告することを通じて、今後の各大学等における学生支援の取組に関する新たな知見を提供します。

## PROGRAM

14:00-14:05

### 開会挨拶

吉野 利雄 (独立行政法人日本学生支援機構 理事)

14:05-14:10

### 趣旨説明

沖 清豪 (早稲田大学 文学学術院 教授)

14:10-14:55

### 分析報告

モダレーター 沖 清豪 (早稲田大学 文学学術院 教授)

(14:10-14:25)

#### 分析報告①

#### ピア・サポート・課外活動から見える大学コミュニティ形成の可能性

安部 有紀子 (名古屋大学 高等教育研究センター 准教授)

(14:25-14:40)

#### 分析報告②

#### 「空間」と「場」が交差する生活支援(学生寮)と学生対応の状況から考える

蝶 慎一 (香川大学 教育推進統合拠点 大学教育基盤センター 准教授)

(14:40-14:55)

#### 分析報告③

#### 岐路に立つ大学と学生支援組織 —コロナ禍の経験はどのように受け止められたのか?—

橋場 諭 (福岡大学 教育開発支援機構 教授)

15:00-15:45

### パネルディスカッション・質疑応答

モダレーター 沖 清豪

パネリスト 安部 有紀子・蝶 慎一・橋場 諭 (50音順)

15:55-16:00

### 閉会挨拶

佐藤 稔晃 (独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部長)

